知床五湖における主な一般利用者とヒグマの危険遭遇事例（2011～2023年）

	日付	利用期		現地対応	詳細	その後の対応
1	2019年10月17日	植生保護期	威嚇突進	なし	一般利用者が地上遊歩道Q-R地点間（現x-R地点、2021年以降廃道）ループ内に単独オス成獣サイズのヒグマを目撃。ヒグマは遊歩道上に移動し、利用者をストーキング。ヒグマの姿が見えなくなった際に利用者が走って逃げると、利用者を追いかけてヒグマがブラフチャージをした。	管理者協議の上、当面地上遊歩道を閉鎖。ヒグマ対策員が毎日パトロールを実施したが当該個体を確認できなかったため、10/26から地上遊歩道の利用を再開した。
2	2020年6月30日	ヒグマ活動期	駐車場侵入	-	知床五湖駐車場のチケットハウス付近で2頭のヒグマが出没した。高架木道側の駐車場わきの藪から亜成獣サイズとメス成獣サイズのヒグマがわずかな時間差でほぼ同時に出現し、先に出現した亜成獣サイズのヒグマを、メス成獣サイズのヒグマが興奮した様子で追いかけた。ヒグマはその後電気柵の端から駐車場外へ出て行った。	経過観察。
3	2021年7月11日	ヒグマ活動期	駐車場侵入	鳥保2名、FH2名 BES1名	高架木道入口と駐車場の間で単独亜成獣サイズのヒグマがミズバショウを採食して滞留。利用者が駐車場に出ないよう職員が高架木道や館内、車内に一時留めた。その後ヒグマ対策員が応援に駆けつけ轟音玉でヒグマを追い払った。	駐車場の電気柵を延長した。
4	2022年7月30日	ヒグマ活動期	駐車場侵入	環境省1名、鳥保2名 FH1名、登録引率者2名	自然公園財団職員が駐車場のチケット販売を終了し退勤後、登録引率者が駐車場でヒグマを目撃、五湖FH職員が利用者に車内と館内に留まるよう指示。登録引率者、環境省、ヒグマ対策スタッフが追い払いを実施した。	駐車場開放時間内は公園財団職員が常駐することとなった。
5	2023年8月22日	植生保護期	威嚇突進	なし	一般利用者が地上遊歩道O-P地点間で0歳1頭連れ親子のヒグマに威嚇突進を受けた。利用者が後方へ待避するも再度同個体に遭遇したため前方へ退出。五湖FHへ帰着しヒグマの報告をした。利用者より「ビデオを覗いていたから落ち着いて行動出来た。もっと声や音を出して歩けばよかった。」	翌日現地調査を実施し9:00より利用を再開。その後11:15にヒグマ目撃のため遊歩道を閉鎖。管理者協議の上、当面遊歩道を閉鎖。その間に遊歩道の草刈を実施。8/26より利用を再開した。
6	2023年9月8日	植生保護期	同時多発	FH3名、鳥保1名	地上遊歩道N-O地点間でヒグマを目撃、登録引率者が無線で五湖FHへ連絡。後方退出中の登録引率者がB-C地点間でヒグマを目撃、ヒグマが滞留したため五湖FH職員が現場を確認。知床自然センター職員及びヒグマ対策員に応援を要請し、安全確認を行いながら利用者の退出誘導を行った。	管理者協議の上、9/9～9/15期間は大ループコースのみを閉鎖。開園前に小ループの調査を実施し、小ループのみ開放。9/12～14期間に管理者が持ち回りで現地調査実施し、前倒しで9/15より大ループの利用を再開した。
7	2023年9月16日	植生保護期	威嚇突進	なし	地上遊歩道L-M地点間で一般利用者が子グマに威嚇突進を受けた。	経過観察。
8	2023年10月17日	植生保護期	同時多発	FH3名、BES1名	高架木道から地上遊歩道方向へ移動するヒグマが目撃され地上遊歩道を閉鎖。五湖FH職員が利用者誘導のためP地点へ向かう途中、x地点でヒグマを目撃、ミズバショウを採食してその場で滞留。F地点、G地点でもヒグマの目撃があり利用者はP地点付近で待機。B～G地点に職員を配置し安全確認を行いながら利用者大ループ逆路で退出誘導した。	経過観察。